

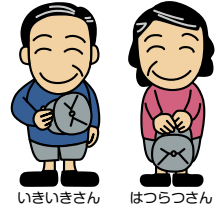
シルバー くま

Silver Kuki

2021

第11号

埼玉県シルバー人材センター連合マスコット



いきいきさん

はつらつさん

シルバー人材センター基本理念

- 自主 センターを私たちのものとして考えます
- 自立 センターを私たちの力で育てます
- 共働 私たち会員は共に仲良く働きます
- 共助 私たち会員は互いに助け合います

- 60歳からの ENJOY・Life -



2020 S. mikami

謹賀新年



年頭のあいさつ.....	2・3	発注者アンケートの結果.....	7
部会・委員会を紹介.....	4・5	令和2年度上半期実績.....	7
会員の声.....	6	シルバー農園.....	8

表紙イラスト
みかみ しげこ
三上 成彦さん

年頭のあいさつ



理事長

鈴木 薫

新年あけましておめでとうございませす。会員の皆様ならびに、当センターの皆様には、希望に満ちた新年をご家族お揃いで健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年6月の定時総会において役員の変更が行われ、齋藤前理事長が築き上げた「安全文化」を受け継ぎ、理事長に就任して6ヶ月が経過いたしました。皆様には、当センターの事業運営に多大なるご理解と尽力をいただき誠にありがとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスが全世界で猛威を振るい、緊急事態宣言が发出され、東京オリンピック・パラリン

ピックの延期や様々なイベントが中止されるなど、今までに経験したことのない生活を余儀なくされました。1日も早く、事態が終息することを心から願うばかりです。

少子高齢化が進み、労働力人口が減少する中、シルバー人材センターの果たすべき役割、期待される役割は、ますます大きくなってきております。当センターにおきましても、会員一人ひとりが培ってきた知識や経験を生かした就業を通じ、「自主・自立」「共働・共助」の基本理念のもと、地域社会の活性化に貢献できるよう事業を展開しつつ、安全就業の徹底を図り、様々な機会を通じ会員の皆様方のご意見等を集約し、相互理解のもと、会員と役員が一丸となり、市民に親しまれ信頼されるセンターを目指して参ります。

結びに、本年もセンターの事業運営に対し更なるご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のますますのご活躍とご発展をご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

あけまして

おめでとうございませす

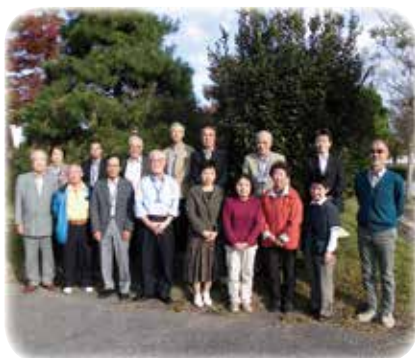
役員

理事長 鈴木 薫
副理事長 田口 英夫
常務理事 保坂 善彦

理事 岡野みち子 金子 幸子

監事

榎本 正則 中村 晃 内藤 睦央 曾和 健 杉山 佳佑 亀田 文江 高橋 三男 町田 義治 中島 康夫



事務局職員

事務局長 保坂 善彦
庶務・経理担当 秋山 泰典

業務担当 朝生 広美 荒牧 伸将 小林いづみ 新井 友章 三浦 和枝 黒須ひかる 本宮 洋子

お客様担当

佐瀬 剛



久喜市長

梅田修一

あけましておめでとうございます。

公益社団法人久喜市シルバー人材センター会員の皆様方には、新年の始まりにあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

久喜市シルバー人材センターにおかれましては、創立以来、地域に密着した事業を展開され、高齢者の就業機会の確保・拡大や地域社会の福祉の向上と活性化に貢献いただいておりますことに心から感謝申し上げます。

少子高齢化の進行により地域の労働力が減少する中、高齢者の方の意欲や能力に応じた就業機会、社会参加の場を総合的に提供する組織として、シルバー人材センターの役割はより一層重要なものとなっており、また高齢者の皆様のこれまで培った豊富な知識や経験を生かしていくことは、今後の地域づくりに欠かすことができないものと

考えております。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、社会全体に多大な影響をもたらしたところですが、貴センターにおかれましては利用者や会員の皆様の安全、安心に配慮され、継続的な事業活動にご尽力されました。改めて敬意を表するとともに、感謝申し上げます。

本市といたしましても、高齢者の皆様の健康で生きがいのある生活の実現と活躍の場を創出できるよう取り組んでまいりますので、引き続き、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人久喜市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様方のご多幸をご祈念申し上げます。まして、新年のごあいさつといたします。



丑年にあつた

出来事・流行語



1937年(昭和12年)

- 出来事 ● 日中戦争勃発 ● 大本営設置
- 流行語 ● 尽忠報国 ● 馬鹿は死ななきやならぬ

1949年(昭和24年)

- 出来事 ● 日本国有鉄道発足

- 流行語 ● 湯川秀樹ノーベル物理学賞受賞 ● 筋金入り ● つるしあげ

1961年(昭和36年)

- 出来事 ● NHK連続テレビ小説放送開始

- 流行語 ● 第2室戸台風襲来 ● 地球は青かった ● わかつちやいるけどやめられない

1973年(昭和48年)

- 出来事 ● オイルショック ● 大洋デパート火災

- 流行語 ● 省エネ ● ちよつとだけよ

1985年(昭和60年)

- 出来事 ● NTT誕生 ● 日航機墜落事故

- 流行語 ● イッキー! イッキー! ● 私はコレで会社をやめました

1997年(平成9年)

- 出来事 ● 消費税増税5%に ● 山一証券破綻

- 流行語 ● 失楽園 ● パパラッチ

2009年(平成21年)

- 出来事 ● 民主庄勝、政権交代

- 流行語 ● 新型インフルエンザ猛威 ● 事業仕分け ● ぼやき



部会・委員会を紹介

部会長・委員長へインタビュー



令和2年度の役員改選に伴い、部会・委員会も新たな体制でスタートし6ヶ月が経過しました。

この間新型コロナウイルス感染症の影響を受け、計画されていた様々な研修会や事業が中止されるなど、思うような活動が出来ない状況にあります。

センターでは「ウイズ・コロナ」の中、10月下旬から感染予防の対策を行いながら「就業安全研修会」等を再開しました。

来年度以降、本格的な活動再開に向け準備を進めている部会長・委員長のコメントとメンバーを紹介します。



※部会・委員会の写真は2020年11月末に撮影したものです。

総務・財政部会

部会長 ▶ 鈴木 薫

総務・財政部会では、センター運営の基本となる「諸規定」の立案や改正などを審議するほか、事業計画の承認や予算編成・決算確認などを通してセンターの財政面・運営面のチェックを行っています。

また、「地区懇談会」や「地域班会議」「アンケート調査」等を通し、会員皆さんからの意見を基に、安心して就業・活動ができるよう、多方面からの応援活動を進めて参ります。

副部会長 ▶ 高橋 三男

部会員 ▶ 池田 征二、衣川 湘司、関本 光男 添田 晋六、田口 英夫、藤田 賢



事業部会

部会長 ▶ 町田 義治

事業部会では、会員皆さんへの適切な仕事の提供や就業上の諸問題の処理、就業機会の開拓と独自事業の円滑推進を目的とした活動を行っています。

令和2年上半期は昨年比で受託事業の低迷が目立ちますが、会員皆さんの総意の基、市民の要望に応えられるセンターとしての体制強化を図って参ります。

副部会長 ▶ 内藤 睦央

部会員 ▶ 岩崎 秀男、内田 忠利、大澤 進 佐藤 敏明、瀬田 和子、田口 英夫 中沖 幾江





普及・啓発部会

部会長 ▶ 内藤 睦央

普及・啓発部会では、新聞折り込みによる「よろこび」や「シルバー久喜」を編集・発行する他、「市民祭り」など各種イベントに参加し、センターの魅力を広く市民にPRする活動を行っています。

昨年は多くのイベントが中止となりましたが、10月のシルバーの日に合わせた「清掃ボランティア活動」を実施することができました。また本年3月には「久喜親和会による作品展」と連携を図るなど、新たな取り組みによりセンターの魅力を発信して参ります。

副部会長 ▶ 亀田 文江

部会員 ▶ 岡野みち子、杉山 佳佑、高橋 三男、原田美智子、町田 義治、松本 良隆



女性部会

部会長 ▶ 金子 幸子

女性部会では、女性がもっと長く活躍し、楽しく生きがいが見つけられる様、センターをフィールドとした「料理教室」や「シニアビューティメイク講座」「小物づくり教室」等を企画・実施しています。

センターでのお仕事以外でも、みんなで気軽に楽しく参加できる様々なイベントを企画し、女性の仲間づくりを推進して参ります。

副部会長 ▶ 亀田 文江

部会員 ▶ 植原登美子、岡野 瑞恵、岡野みち子
瀬田 和子、内藤 洋子



安全・適正就業委員会

委員長 ▶ 田口 英夫

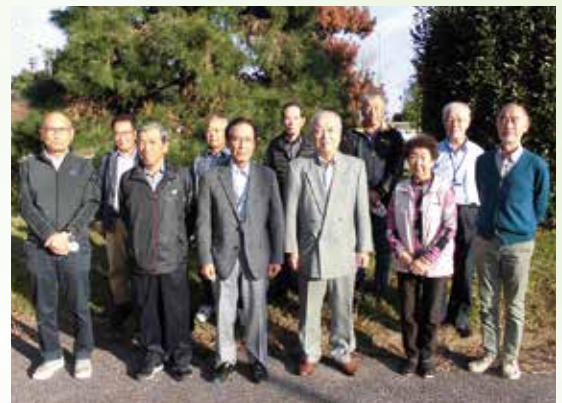
安全・適正就業委員会では、会員皆さんの健康と就業時の安全確保を第一に、定期的に「安全巡回パトロール」を行う他、「就業安全や交通安全講習会、草刈り機械や植木剪定などの技能講習会」等を企画・実施しています。

令和2年12月時点の事故発生状況は、傷害事故7件、賠償事故3件となり、いずれも「慣れ」や「ちょっとした油断」から発生したものです。

就業時の安全確認・確保はもとより、就業途上の交通事故にも十分注意をお願いします。

副委員長 ▶ 曾和 健

委員 ▶ 青柳 貞雄、新井 健一、飯塚 博、
小林 英一、籠宮 勉、佐藤 新夫、佐藤 敏明、鈴木 薫、高橋 操、
内藤 洋子、野口 進、原 節夫



尻込みせず、何事にもチャレンジ！



原^{はら} 文子^{ふみこ}さん
(菅蒲地区)

シルバーの仕事に携わり丸3年、4年目に突入です。

センターの方から何回かお仕事のお誘いをいただきましたが、なかなか勇気が出ずお断りばかりしていましたが、一念発起「何事もやってみない事には始まらない」と思い、今のバスターミナルの清掃のお仕事を始めました。

ターミナルを利用するお客様に「きれいにしていますね」と言われる様になり、うれしくなって「また頑張ろう」と言う気持ち湧き、このお仕事を始めて本当によかったと今は思っています。

お仕事の無い日は趣味の社交ダンスや、近所の人達とお茶会で盛り上がるなど、楽しんでいましたが、今はコロナで何も出来なくてとても淋しい思いをしています。

でも、身体が続く限り自分の健康と共にお仕事や趣味など、出来る限り頑張りたいと思います。

和気アイアイ「小物づくり」

金子^{かねこ} 幸子^{さちこ}さん (女性部会長)

会員皆さんとのコミュニケーションの場になればと女性部会で企画した「小物づくり教室」がきっかけとなり、小物づくりが好きな人たちが集う「小物づくりの会」の活動が始まりました。

現在は菅蒲老人福祉センターを拠点として、特別に講師をお招きすることなく、集ったみんなが講師であり・生徒であり、自前でつくりたいものをつくるという方針で取り組んでいます。



初めの頃は思うように仕上げる事が出来ず考え込む事もありましたが、出来上がった作品がどのような形でも嬉しいものです。

また、仕事場以外の皆さんと交流ができ、和やかな雰囲気で作品づくりができるのは楽しいものです。興味のある方は様子を見に来ませんか。

自転車の正しい乗り方教室を開催

久喜・幸手両警察署交通課にご協力をいただき「自転車の正しい乗り方」教室を4地区で開催、延べ51人の会員さんが参加しました。

講習会では、普段乗っている自転車を使って、実際に仮設コースを試走する実技指導も行われました。

講習をお願いした久喜警察署内田さんからは「皆さんの自転車の乗り方に冷や汗が出ることもありました」とのコメントを頂くなど、危険な乗り方の方もいたようです。

参加した会員からは「普段の乗り方と比べ、改めて学んだことも多かった」「自分の技術レベルや交通ルールを実感する良い機会となりました」などの感想が寄せられました。

高齢者による自転車の事故が後を絶たず増加傾向にあるとのこと。改めて交通ルールを守り、事故に遭わないよう気を付けましょう。



発注者アンケートの結果

高い評価を頂きました

令和元年12月にお仕事を頂いたお客様296件を対象に、お仕事の仕上がりや料金・満足度などの「アンケート調査」を実施、152件（回収率51.4%）の回答をいただきました。

表1の「センターを利用した動機」では「料金が安い」との回答が57.2%、続いて「信頼できる」49.3%、「仕事が丁寧」38.8%となり、皆さんから高い信頼を受けていることが分かります。

次の表2「全体の満足度」では、「満足・とても満足」を併

利用の動機

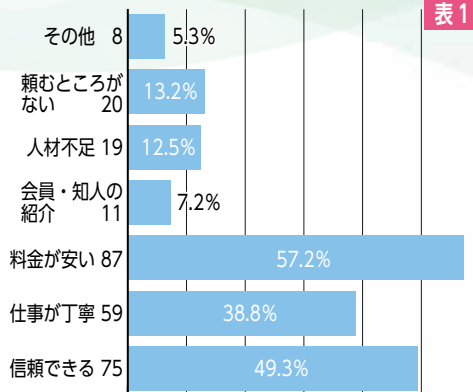


表1

せると約69%となり、高い評価をいただいています。

その他「仕上がり具合」や「対応」「料金」などのアンケート結果でもそれぞれ高い評価をいただき、「今後もセンターを必ず利用する」という回答は約78%となっています。

その一方で、依頼した理由が「他に頼むところがないから」13.2%や、全体の満足度が「不満足」2.0%となっている他、ご意見の中には、「センターへの不満の声」もありました。今回のアンケート結果を踏まえ、お客さまの満足度の向上を目指し、更なる技術やサービスの向上に努める必要があります。

満足度

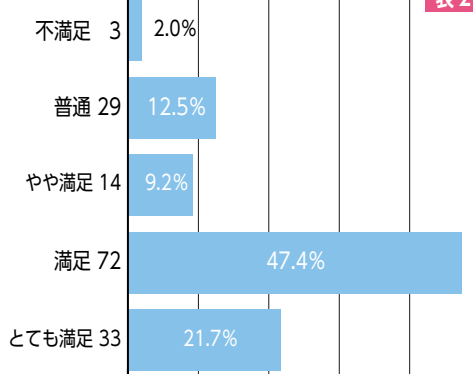


表2

令和2年度上半期(4月～9月)

会員数・実績とも前年度を下回る

令和2年度上半期の会員数は、前年より14人減り、1,147人となりました。(表1)

事業実績では、請負の受注件数が1,800件、派遣が46件となり、請負・派遣を合わせた受注件数は前年に比べ322件の減となりました。(表2)

また、契約金額では、請負1億7,805万円、派遣8,536万8千円、合計で2億6,341万8千円となり、前年に比べ約1,274万円少なくなっています。派遣契約額が、前年の約5,707万円から8,536万円と大きく伸びていますが、これは就業形態を請負から派遣

表1

会員数前年度対比(4月～9月)

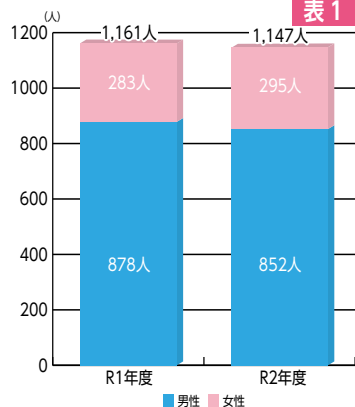


表2

受注件数前年度対比(4月～9月)

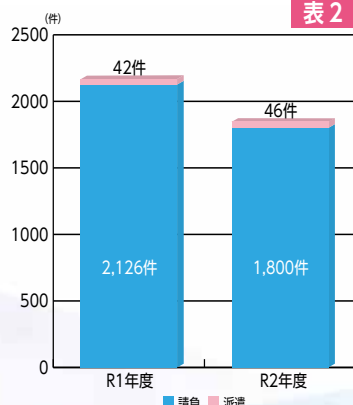
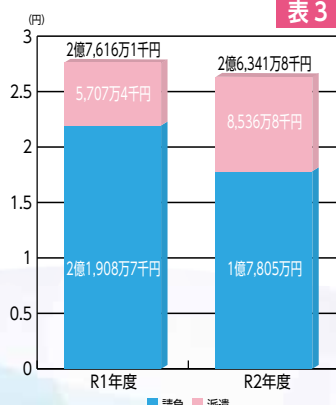


表3

契約金額前年度対比(4月～9月)



シルバー農園で土いじりに参加してみませんか

衣川 翔司さん

シルバー農園では久喜市吉羽地区の約1,000㎡の畑で、年間を通していろいろな野菜を栽培し、販売所や市民祭りなどの各種イベント時に「新鮮野菜の即売」を行っています。

発足当時を知る方の話では、平成23年に久喜市から、遊休農地の再利用・活用の相談を受け、農業委員会と調整し実施計画を作成、平成25年1月に会員11人で「シルバー農園事業」をスタートしたと聞いています。

始めたばかりの畑は粘土質が多く野菜作りに適してなかったようで、肥料や培養土を入れるとともに、久喜宮代衛生組合から再生培養土を、また鶏糞工場から鶏糞を譲り受けるなどして、土壌の改良を行いました。

また、近所の農家の方がトラクターで耕運作業を担うなど、多くの方々のご協力により、現在のような畑となり、今では作付けする野菜の種類もだんだん

増えてきました。

畑の整備は進んだものの、現在農園で作業する会員は5人と少なく、令和2年のように長雨の影響などにより、ちよっと油断すると畑が雑草だらけになり収穫量が激減します。また、収穫した野菜の保管にも事欠く状況になっていきます。

このような事から、土いじり仲間の募集、野菜の保管場所の確保、販売拠点の拡充を行うことにより、安定した農園運営を目指すとともに、農園を活用したイベントが出来ないか検討することとしています。

農作業はつらいこともありませんが、新鮮野菜を楽しむにしている方がいることや青空の下、休憩時間の「お茶のみタイム」

「ム」での談笑は最高、充実した「時」が実感できます。男女や経験を問わず多くの皆さんの参加をお待ちしています。



栽培している野菜

ジャガイモ、ネギ（一本ネギ、九条ネギ）、タマネギ（赤、白）、大根、カブ（赤、白）カボチャ、サツマイモ、ハツ頭、ほうれん草、ナス、トマト、ニンニク、ラッキョウ、唐辛子、ヤーコン、キクイモ など

野菜の販売場所

- ふれあいセンター（自転車リサイクルセンター前）
- 開催日 金曜日
- センター事務所前
- 親和会クラブウンドゴルフ開催日

※販売日は「お知らせ版」を確認してください。

編集後記

謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年は会員の皆様にご支援ご協力をいただき、有難うございました。

令和3年の「シルバー久喜」をお届けいたします。センター事業を推進する、各部会や委員会の紹介、会員の声などを掲載させていただきました。

昨年は3月より新型コロナウイルス感染症騒動ではじまり、いまだコロナ禍の状況が続いております。公共の場所集会など三密感染防止が実施されております。

会員の皆様、家族共々健康に留意され、本年も安全第一にシルバー活動に参加ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

部会員 松本 良隆

「シルバー久喜」第十一号

- 編集 普及啓発部会
- 内藤 睦央 亀田 文江
 - 岡野みち子 杉山 佳佑
 - 高橋 三男 原田美智子
 - 町田 義治 松本 良隆

